台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取組みましょう

ハザードマップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ → 色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外 → ※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある
場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

解説は裏面をご覧下さい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル３高齢者等避難が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル３高齢者等避難が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

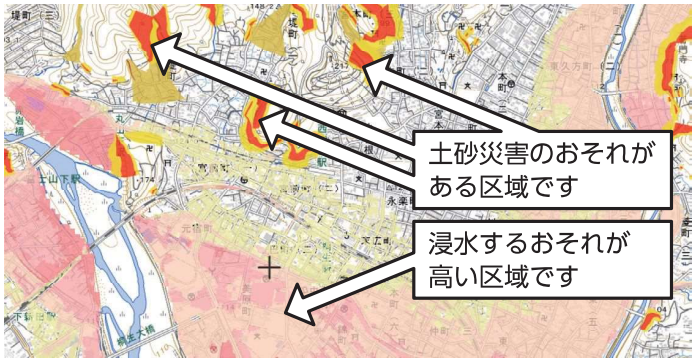
警戒レベル４避難指示が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう（日頃から相談しておきましょう）

いいえ

警戒レベル４避難指示が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所に避難**しましょう

避難行動判定フローの参考情報

ハザードマップの見方　必ず確認してください

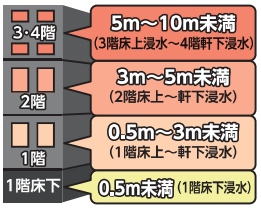


※ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。

凡　例

水害

洪水浸水想定区域（浸水深）



土砂災害

土砂災害警戒区域：土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

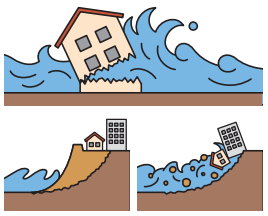
ハザードマップポータルサイト　検索

ハザードマップの見方　もっと詳しく知りたい人向け

次の３つが確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

❶ 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

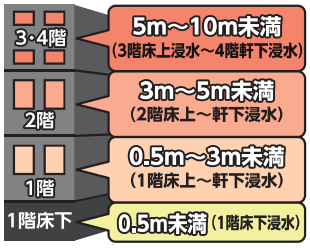
（入っていると…）



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

❷ 浸水深より居室は高い



❸ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

（十分じゃないと…）

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

※❶家屋倒壊等氾濫想定区域や❸水がひくまでの時間（浸水継続時間）はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。なお、重ねるハザードマップには❶及び❸の記載はありません。

警戒レベル３や警戒レベル４が出たら、危険な場所から避難しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

※緊急時に身を寄せる避難先は、市町村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。（小中学校、公民館など）

※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所」に行きましょう。

わからないことがありましたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。

（参考）内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定（令和3年度）」
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

避難情報のポイント

市区町村から出される避難情報（警戒レベル）

避難とは**難**を**避**けること、つまり**安全を確保すること**です。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

危険な場所から**警戒レベル３で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル４で〈全員避難※1〉**です。

※１警戒レベル４「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。

警戒レベル４避難指示で危険な場所から避難です

警戒レベル５はすでに災害が発生・切迫している状況です。

・警戒レベル５は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
・警戒レベル５緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
・ただし、警戒レベル５は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル４は避難指示に一本化されました。

・警戒レベル４避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル３は高齢者だけの情報ではありません。

・警戒レベル３は、高齢者や障害のある人、妊産婦、乳幼児連れの人など、避難に時間がかかる人は避難を開始するタイミングです。
・それ以外の人も、必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

避難情報のポイント解説　もっと詳しく知りたい人向け

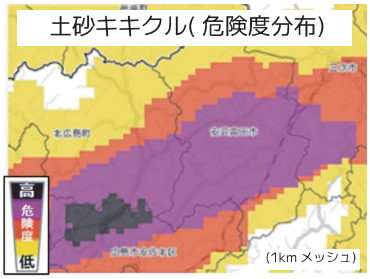
国土交通省・気象庁・都道府県から出される河川水位や雨の情報（警戒レベル相当情報）

■キキクル（危険度分布）で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

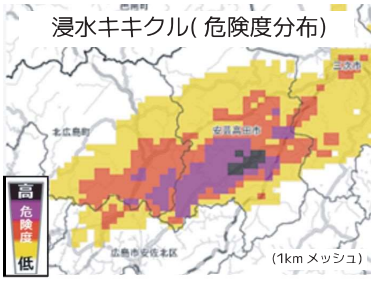
気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報※が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。 紫の段階では、既に災害のおそれが高まっている状況です。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

キキクル　検索



崖・渓流の近くは危険



低地は危険

河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。

■市区町村が出す警戒レベル４避難指示までに必ず避難しましょう　気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等（警戒レベル）				河川や雨等の情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報（警戒レベル相当情報）	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報
～～～ ＜警戒レベル４までに必ず避難！＞ ～～～								
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難	3相当	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 大雨警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	レベル２ 大雨・土砂災害・氾濫 高潮注意報	2	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1	早期注意情報			

市区町村長は、河川や雨等の情報（警戒レベル相当情報）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

わからないことがありましたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。

（参考）内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定（令和８年3月）」
https://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline